

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名 農山漁村振興推進交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農山村振興課 農村支援係 電話番号：058-272-1111(内4179)

E-mail : c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 60,000 千円 (前年度予算額： 60,500 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	60,500	60,500	0	0	0	0	0	0
要求額	60,000	60,000	0	0	0	0	0	0
決定額	60,000	60,000	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

農業従事者の高齢化により遊休農地の増加等が懸念されている中山間地域等において、地域ぐるみの話し合いによる農用地保全の取組や複数の集落が協力して集落機能を維持する取組等を支援する。

(2) 事業内容

- ・中山間地農業推進対策事業
中山間地域の特色を活かした収益力向上に向けた取組やモデル構築及び農村RM0形成等を支援
- ・最適土地利用総合対策事業
重要な地域資源である農地の有効活用や低コストで農地を維持するための粗放的な利用によるモデル的な取組を支援
- ・棚田地域振興対策推進事業
地域外との橋渡し、人材確保の土台づくり、先導的機器の導入による共同活動を支援

(3) 県負担・補助率の考え方

- 中山間地農業推進対策事業
全額国庫負担
- 最適土地利用総合対策事業、棚田地域振興対策推進事業
事業メニューにより全額国庫負担または国5.5/10等

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	60,000	<ul style="list-style-type: none">元気な地域創出モデル支援事業：2地区農村RMOモデル形成支援事業：2地区最適土地利用総合事業：1地区荒廃農地再生支援事業：5地区
合計	60,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）

(2) 国・他県の状況

国の事業目標

地域資源を活用して付加価値額向上に取り組む事業主体の割合の増加を目指して86億円を概算要求。

(3) 後年度の財政負担

県負担は発生しない。

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村、地域協議会等が事業主体

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

都市と農村の交流人口増加や地域農産物のブランド化、農村における所得の向上、地域活性化、粗放的利用を含めた農地用保全等を、事業実施主体が定めた目標年度までに達成できるよう支援。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①中山間地域の集落協定面積 (ぎふ農業活性化基本計画(仮称・令和8年3月))	9,134ha	9,217ha	9,150ha	9,050ha	9,250ha	101%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	恵那市において、市が地域活性化を目指す「たべる推進計画」の取組として、地域固有食文化の継承や、地域外への情報発信のための食文化ストーリーブック（地域資源の特徴や歴史などの説明書）の作成を実施し、地域の振興を図った。
	指標① 目標：9,150ha 実績：9,135ha 達成率：99.8%
令和5年度	中津川市において、地図上における地域資源の可視化とIoTを活用した地域課題解決策の検討やアンケート調査を実施し、加子母地区地域将来ビジョンを作成した。 飛騨市において、実証的粗放利用の着手準備として、次年度計画に向けた放牧地の選定及び資材の購入を行った。
	指標① 目標：9,150ha 実績：9,169ha 達成率：100.2%
令和6年度	中津川市において、高齢農家の集出荷及び買い物、外出支援等の生活支援体制の構築に向けた行動計画の策定と実証事業を実施した。 飛騨市において、地域ぐるみの話し合いによる土地利用の概略構想の整理、実証的粗放利用等を実施した。 白川町において、お茶を使った商品の開発や茶園管理作業計画を作成し茶園作業の実証等を行った。
	指標① 目標：9,150ha 実績：9,217ha 達成率：100.7%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	農林業が基幹産業となっている農山村地域の活性化を図るために、特色を活かした取組に対する支援が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	事業実施年度の翌年度より事業評価を行い、事業の有効性を確認している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	これまでに、国及び県において事業を評価し、事業の見直し等が行われ、効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

中山間地域では少子高齢化の進行、経済的な停滞、都市部に比べ遅れた生活環境の整備などから地域の活力が低下しているため、今後もニーズに応えた施策を進める必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

中山間地域の活性化には、収益性の高い農畜産物の生産・販売化等により、所得の確実な向上及び維持管理の省力化等を図ることが必要である。そのため、地域の創意工夫による活性化計画の目標に対する活動を支援し、活力ある中山間地域農業の実現を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	